

平成29年度 家庭科 3学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点及びその趣旨

【生活や技術への関心・意欲・態度】

衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。

【生活を工夫し創造する能力】

衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。

【生活の技能】

生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。

【生活や技術についての知識・理解】

家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3. 3学年の目標

- ①家庭や家族の機能、家庭生活と地域とのかかわりを知り、家族関係をよりよくする工夫をすることができる。
- ②幼児の発達と生活、家族の役割や遊びについて理解する。また、幼児の生活に役立つ物の製作を通して、幼児との関わり方を考えることができる。
- ③3年間の学習を振り返り、将来への展望につなげようと思えることができる。

4. 指導計画・評価計画

		観点・評価規準				評価場面(方法)
月	指導内容	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
4	【ともに生きるわたしたち】(1時間)	・多くの人との関わりの中で成長してきたことに気づく。				・授業に対する取り組み ・プリント
5	【わたしたちの成長と家族】(12時間)	①自分の成長と家族と家庭生活とのかかわりについて、関心を持って学習活動に取り組もうとしている。 ②幼児に関心を持ち、幼児の観察や手作りおもちゃの製作に取り組もうとする。 ③幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達のかかわりについて考えようとする。	①用事の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫する。	①幼児の幼児の心身の発達に応じた絵本の制作ができる。	①幼児の遊びの意義について理解することができる。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・制作記録表 ・作品 ・定期テスト
6	(1)幼いころってどんなだったろう					
7	(2)幼児の生活と遊びを知ろう ・遊びで育つ能力 ・フェルトを使った手作りおもちゃの制作					
9	(3)幼児の心身の発達の特徴を知ろう ・体、心の発達 ・情緒、社会性、ことばの発達 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣					
10	(4)子どもにとっての家族を考えよう	①幼児の個性に関心を持ち、一般的な心身の発達の特徴を知ろうとしている。	①幼児が生活習慣を身につけるのを助ける工夫を考えられる。	①自分の生活や設定場面を通して、家族関係をよりよくする方法を考え、実践できる。	①幼児の心身の発達について理解している。 ②幼児の発達を支える家族の役割について理解する。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・定期テスト ・小テスト
11						
12						
1	【これからのわたしと家族】(3.5時間)	・家族とのかかわりや子どものための権利、法律などに関心を持ち、顔とく関係をよりよくするためにはどうしたらよいかを考えようとしている。	これからの自分と家族のかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくしようと工夫している。		①家庭生活と地域社会とのつながりを理解している。 ②家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを説明	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・小テスト
2	(1)中学生と家族のかかわり					
3	(2)これからの家族とのかかわり					
	【これからの自分と家族の関わり】(1時間)	・衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。				・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表
	・3年間の学習を振り返り将来への展望につなげよう					

平成29年度 技術科 年間指導計画(第3学年)

1.教科の目標

・生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

2.評価の観点及び趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度
- ・生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとしている。
- ・生活を工夫し創造する能力
- ・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指し、自分なりに工夫し創造する。
- ・生活の技能
- ・生活に必要な基礎的な技術を身につけている。

知識理解

・生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。

学期	月	単元名	配当時間	学習内容	各単元における観点別評価基準 評価資料・評価場面			
					生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活への技能	生活や技能についての知識・理解
1	4	○情報に関する技術 コンピュータのしくみと基本操作 コンピュータの構成 コンピュータの利用	6	コンピュータの構成 タイピング練習 (タッチタイピングの練習) 実技テスト(タイピング) 文書作成(タイピングを利用し、wordを使っての文書作成。 作表・表計算 (エクセルを使用し、表の作成などを行う。 ・プレゼンテーション (パワーポイントを使用、実際にプレゼンを行う。 ・情報通信ネットワークの仕組み	ソフトウェアを使用し、積極的に活用しようとしている。	ソフトウェアを活用し、目的に応じて、使用できる。	ソフトウェアの基本的な操作ができる。	ソフトウェアの操作の仕方を理解し、説明できる。
	5				6	7	7	
	6				7	7	7	
	7				7	7	7	
					評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料
					・授業中の活動の観察 ・自己評価 ・プリント	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教材	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教材	・定期テスト ・ノート
2	9	○情報に関する技術 ・コンピュータの利用 (文書作成・表の作成・表計算など) ・情報モラル ・情報技術の特性 ・プログラムの役割について	7	ソフトウェアを使用し、積極的に活用しようとしている。	ソフトウェアを使用し、積極的に活用しようとしている。	ソフトウェアを活用し、目的に応じて、使用できる。	ソフトウェアの基本的な操作ができる。	ソフトウェアの操作の仕方を理解し、説明できる。
	10				11	12	12	
	11				12	12	12	
	12				12	12	12	
					評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料
					・授業中の活動の観察 ・自己評価 ・プリント	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教	・実技テスト ・ノート ・作品 ・補助教	・定期テスト ・ノート
3	1	○エネルギーに関する技術 ・エネルギー変換 ・電気を作り供給する仕組み ・電気回路、機器の安全な使用 ・工具・回路計の使い方	4.5	テーブルタップの製作 電気機器の安全な使い方 回路系の使い方	エネルギー変換に関心を持ち、その特徴を調べようとしている。	エネルギーを有効に活用できる方法について調べ、自らエネルギーの使い方を工夫している。	エネルギーの変換の仕組みについて調べまとめることができる。	エネルギー変換の仕組みや力の伝達の仕組みについて理解している。
	2				3	3	3	
	3				3	3	3	
					評価の資料	評価の資料	評価の資料	評価の資料
					・授業中の活動の観察 ・ワークシート ・プリント	・作品 ・プリント ・補助教材	・作品 ・プリント ・補助教材	・ワークシート ・小テスト
配当時数			###					